

提案書評価基準

1 評価事項

提案書に対する評価は、表 1 の評価項目及び配点のもと行います。 評価の視点は表 2 のとおりとします

2 評価方法

- (1) 「類似業務の実績」「提案内容（２）エ」は、A、C、E の３段階評価を行う。
- (2) 「業務実施体制」「事業趣旨の理解度」「提案内容（１）」「提案内容（２）ア、イ、ウ」は、A、B、C、D、E の５段階評価を行う。
- (3) 評価点について、次のように配点を行う。
それぞれの配点に、 $A=5/5$ 、 $B=4/5$ 、 $C=3/5$ 、 $D=2/5$ 、 $E=1/5$ を乗じて算出する。
ア 業務実施体制、提案内容（１）
配点 10 点 $A=10$ 点、 $B=8$ 点、 $C=6$ 点、 $D=4$ 点、 $E=2$ 点
イ 類似業務の実績、提案内容（２）エ
配点 15 点 $A=15$ 点、 $C=9$ 点、 $E=3$ 点
ウ 事業趣旨の理解度、提案内容（２）ア、イ、ウ
配点 15 点 $A=15$ 点、 $B=12$ 点、 $C=9$ 点、 $D=6$ 点、 $E=3$ 点
ワーク・ライフ・バランス及び脱炭素・SDGs に関する取組の評価については、表 1 の「評価の着目点」に記載した項目について 1 つ満たすごとに 1 点を加算する。
- (4) 評価が同点となった場合は、評価委員会に出席した委員の多数決で決し、票数が同数の場合は、委員長が決するところによる。
- (5) 評価に E がある場合は、委託の受託候補者に原則として特定しない。
- (6) 評価の合計が 72 点に満たない場合は、委託の受託候補者として特定しない。

表 1

評価項目 (配点)	評価の着目点	配点	評価	評価点
業務実施体制 (10 点)	本市との十分な連絡調整ができる体制が整備され、円滑かつ継続的に安定した業務遂行が期待できるか	10		
類似業務の実績 (15 点)	過去 5 年間に類似業務の実績があり、その業務内容や事業手法が本業務の実施につながると評価できるか。	15		
事業趣旨の理解度 (15 点)	横浜市の方針や施策及び「YOKOHAMA GO GREEN」の役割を踏まえ、本業務内容の趣旨・目的を的確かつ十分な理解に理解した提案であるか。	15		
提案内容 (1) CO ₂ 排出量測定 システムの提供 (20 点)	ア 市民目線で直感的に分かりやすいシステムとなっており、市民の行動意欲につながる内容となっているか。	10		
	イ イベント主催者 (区等) が利用しやすいシステムであり、イベント以外での活用範囲の拡大が期待できる内容となっているか。	10		
提案内容 (2) GO GREEN チャレンジの企画立案・運営 (60 点)	ア 本市の目的・課題を踏まえ、脱炭素行動の実践に繋がる提案になっているか。	15		
	イ ターゲット層である親子の参加と学びに繋がる工夫がなされているか。	15		
	ウ 話題性及び実現可能性がある提案となっているか	15		
	エ 当日のイベント運営において、十分な運営体制を確保できるか。	15		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組 (5 点)	次の項目を満たしているか (各項目 1 点) ☐ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定 (従業員 101 人未満の場合のみ加算) ☐ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定 (従業員 301 人未満のみ加算) ☐ 次世代育成支援対策推進法に基づく認定 (くるみんマーク、プラチナくるみんマーク)、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定 (えるぼし) の取得、又はよこはまグッドバランス賞の取得 ☐ 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得 ☐ 障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5% の達成 (従業員 40 人以上)、又は、障害者を 1 名以上雇用している (従業員 40 人未満)	5		
脱炭素・SDGs に関する取組 (2 点)	次の項目を満たしているか (各項目 1 点) ☐ 横浜市 SDGs 認証制度 “Y-SDGs” の取得 ☐ エコアクション 21 認証の取得	2		

表 2

評価項目	評価の視点	評価				
		A(5/5)	B(4/5)	C(3/5)	D(2/5)	E(1/5)
業務実施体制 (10点)	本市との十分な連絡調整ができる体制が整備され、円滑かつ継続的に安定した業務遂行が期待できるか。	本市と十分に意思疎通を図る仕組みや、フレキシブルに対応できる体制が提案されており、万全な実施が期待できる	本市と連絡・調整ができる仕組みや体制等が提案されており、円滑な実施が期待できる	人員配置や組織体制において、必要水準を満たしている	人員体制や組織体制に不安がある	十分な人員配置がなく組織体制が整っていないまたは該当する記載がない
類似業務の実績 (15点)	過去5年間に類似業務の実績があり、その業務内容や事業手法が本業務の実施につながると評価できるか。	同種業務で複数の受託実績があり、業務実績を本業務の実施に課することが十分期待できる		同種業務で受託実績がある、業務実績を本業務の実施に生かすことが期待できる		同種業務で受託実績がないまたは業務実績を本業務に生かすことが期待できない
事業趣旨の理解度 (15点)	横浜市の方針や施策及び「YOKOHAMA GO GREEN」の役割を踏まえ、本業務内容の趣旨・目的を的確かつ十分な理解に基づいた提案であるか。	的確かつ十分な理解に基づき、本市の方針に非常に合致した提案である	十分な理解に基づき、本市の方針に合致した提案である	理解に基づき、本市の方針に沿った提案である	理解に不安な点があり、本市の方針にあまりそぐわない提案である	理解しておらず、本市の方針ともそぐわない提案である
提案内容(1) CO2排出量計測システムの提供 (20点)	ア 市民目線で直感的に分かりやすいシステムとなっており、市民の行動意欲につながる内容となっているか。	市民目線で非常に分かりやすく、市民の行動意欲に繋がることが十分期待できる	市民目線で十分分かりやすく、市民の行動意欲に繋がることが期待できる	市民目線で分かりやすく、市民の行動意欲に繋がることがやや期待できる	市民目線で分かりやすさに不安があり、行動意欲につながるあまり期待できない	市民目線で分かりにくく、行動意欲につながるが全く期待できない
	イ イベント主催者(区等)が利用しやすいシステムであり、イベント以外での活用範囲の拡大が期待できる内容となっているか。	イベント主催者が非常に利用しやすく、様々な場面での活用が十分期待できる	イベント主催者が利用しやすく、様々な場面での活用が期待できる	イベントを行う上で、十分な内容となっている	イベント主催者が利用しやすさに不安があり、限定的な活用にと留まることが見込まれる	イベント主催者が利用しにくく、活用が期待できない
提案内容(2) GO GREENチャレンジの企画立案・運営 (60点)	ア 本市の課題や目的を踏まえ、脱炭素行動の実践に繋がる提案になっているか。	的確かつ十分に理解し、脱炭素行動の実践に繋がることが非常に見込まれる	十分な理解に基づき、脱炭素行動の実践に繋がることが見込まれる	標準的な提案となっている	理解に不安な点があり、脱炭素行動の実践に繋がることがあまり見込まれない	理解しておらず、脱炭素行動の実践に繋がることが見込まれない
	イ ターゲット層である親子の参加と学びに繋がる工夫がなされているか。	多くの親子の参加が見込まれ、学びにつながる十分な工夫がなされている。	一定程度の親子での参加が見込まれ、学びにつながる工夫がなされている。	標準的な提案となっている	親子での参加や、学びにつながる工夫がされているとはあまりいえない	親子での参加が見込まれず、工夫がなされていない
	ウ 話題性及び実現可能性がある提案となっているか	話題性があり、かつ実現可能性も高く、魅力的な提案となっている	話題性があり、かつ実現可能性のある提案となっている	標準的な提案となっている	話題性及び実現可能性のある提案とはいえない	話題性及び実現可能性のある提案とはいえない
	エ 当日のイベント運営において、十分な運営体制を確保できるか。	円滑な運営のため、十分な運営体制が確保されている。		一定程度の運営体制が確保されている。		十分な体制が確保されているとはいえない。